

平成27年度交通安全功労者 交通対策本部長表彰 功績概要について

氏名・団体名	功績の概要
ササキ コウキチ 佐々木 幸吉	昭和42年以来、函館市交通安全指導員会の会員として通学児童等への街頭指導を行うとともに、地区交通安全協会の役員として「交通安全祈願餅つき大会」の開催や高齢者、小・中・高校生を対象にした「交通安全標語コンクール」を企画、開催するなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。
コサカ シュウイチロウ 小坂 修一郎	昭和46年以来、秋田市交通指導隊員等として毎日、児童・生徒の登下校時の通学路における街頭指導を行い安全確保に努めるとともに、交通安全教育の必要性を唱え、高齢者を対象とした交通安全教室の創設や、若者参加型の交通安全活動を定着させるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。
イワモト エツコ 岩本 悦子	昭和55年以来、日光地区女性ドライバークラブ（平成17年に日光交通安全協会女性部に改組）の役員等として交通事故防止に尽力するとともに、高齢者を交通事故から守る活動員(SPL)を結成し高齢者の交通事故防止活動を会員と共に行うなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。
サハシヨシオ 佐橋 芳夫	昭和50年以来、高崎市交通安全指導員として登校日は毎日、早朝から通学、通園路において児童・園児の街頭指導を行い安全確保に努めるとともに、四季の交通安全運動、各種交通安全活動の指導を行うなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。
ヒラノ カツユキ 平野 克幸	昭和48年以来、本庄市交通指導員として登校日には毎日、通学路において児童の街頭指導や、交通安全教室における指導の補助などを積極的に行うとともに、平成27年1月には本庄市の交通安全広報大使として街頭啓発活動、各種イベントへの参加など地域に密着した活動を行い、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。

<p>サトウカズオ 佐藤 和男</p>	<p>昭和44年以来、地区交通安全協会会員として通勤通学路での街頭指導や地域住民等に交通事故防止を呼びかけるとともに、南魚沼交通安全協会副会長として協会組織の充実強化も図りながら、交通安全標語募集や週末の夜間巡回などの多様な活動を行い、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>
<p>アオキアキラ 青木 昭</p>	<p>昭和46年以来、静岡市交通指導員として、学校の登校日には毎日、交通量の多い交差点において児童・生徒及び一般歩行者の街頭指導を献身的に行い歩行者の安全確保に努めるとともに、静岡県交通指導員会連合会会長として会の運営、会員の育成にも取り組むなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>
<p>ミズノアイコ 水野 愛子</p>	<p>昭和44年に津島女性運転者友の会への加入を機に交通安全活動を開始し、昭和57年の愛知県交通安全母の会の設立に携わり、両会の運営・発展に尽力するとともに、役員として積極的な普及啓発活動を行い、母の会の会長としても「家族のつどい」や「ハンド・アップ広報隊活動」を企画・開催した。女性の立場から家庭における交通安全教育の重要性を広く呼びかけるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>
<p>スギモト キミエ 杉本 君江</p>	<p>昭和50年以来、彦根交通安全協会に所属し毎日、地域の児童が通学路として利用している交差点において街頭指導を行うとともに、同交通安全協会女性部長として部をまとめて、一丸となって地域での交通安全活動に取り組むなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>
<p>ムラオカ チヅル 村岡 千鶴</p>	<p>昭和45年以来、毎日、交通量の多い国道の横断歩道等において、通学児童への交通安全指導街を行い、安全確保に努めるとともに、自転車安全ボランティアや交通安全腹話術、紙芝居の読み聞かせなど多岐にわたる交通安全指導を行うなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>
<p>トウホウ ヨシオ 東方 芳夫</p>	<p>昭和54年以来、海南交通指導員等として毎日、地域の小学校の通学路に立って街頭指導を行うとともに、海南市交通指導員会会長や和歌山県交通指導員会連絡協議会の理事としても常にリーダーシップを発揮するなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>

<p>クワバラ マスノリ 桑原 益則</p>	<p>昭和49年以来、松江市の交通指導員として毎日、幼稚園、小学校、中学校の通学路を中心に街頭指導を行い、歩行者等の安全確保に努めるとともに、児童や高齢者に対する交通安全指導を実施し住民等に交通事故防止を呼びかけるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>
<p>マツモト シンイチ 松本 進一</p>	<p>昭和52年以来、岡山県の交通警察協助手として毎日、小・中・高等学校が集中する地域中心部において、児童・生徒等の街頭指導を行い歩行者の安全確保に努めるとともに、薄暮時における夜光反射材等の貼付活動及び「早めのライト点灯」指導や高齢者宅への交通安全訪問指導など、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>
<p>ハシモト ヒロミツ 橋本 弘光</p>	<p>昭和54年以来、福山西交通安全協会柳津支部評議員等として交通安全運動の企画運営に関わりながら交通安全活動を行うとともに、交通安全グランドゴルフ大会・高齢者ウォーキング大会における交通安全講話を継続し、また、小学校の児童を指導し、毎年、広島県交通安全協会主催の「こども自転車大会」へ出場させるなど、多様な取組に従事し、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>
<p>ナカムラ シゲオ 中村 繁雄</p>	<p>昭和38年以来、下関市交通指導員等として、毎日、主要交差点において児童・生徒等の街頭指導を行い歩行者の安全確保に努めるとともに、氏が中心となって結成した交通指導員会の毎月の定例会等において交通法規の改正等の勉強会を開催し顧問として交通指導の方法等の助言指導を行うなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>
<p>ヤノ マサツグ 矢野 正次</p>	<p>昭和46年以来、松前町交通安全指導員として小・中学校登下校には、毎日積極的に街頭指導を行い児童・生徒の安全確保に努めるとともに、地域を熟知した周辺道路の交通安全施設の点検整備を行うなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>
<p>ミゾグチ ケンジ 溝口 研次</p>	<p>昭和50年以来、白石町交通安全指導員として毎日、小・中・高等学校生徒の通学路において街頭指導に努め安全確保に努めるとともに、高齢者に対する交通安全教室にも参画するなど地域の交通安全の確立に尽力し、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>

<p>タナカノブヨシ 田中 信義</p>	<p>昭和48年以来、宇城市交通指導員等として毎日、園児・児童の通学路における街頭指導を行うとともに、小・中学校の交通安全教室の開催、老人クラブでの講話などに積極的に参画し児童や高齢者に対する交通安全教育に尽力するなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>
<p>ウツノミヤ ヒロシ 宇都宮 博</p>	<p>昭和42年以来、杵築市交通指導員等として登校日には毎日、主要交差点において児童・生徒への交通指導を行うとともに、各地区で開催される交通安全教室での交通指導にも積極的に参加し住民等に交通事故防止を呼びかけるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>
<p>オオシロ ミヨ 大城</p>	<p>昭和54年以来、毎日、通学、通園路において児童・生徒の街頭指導を行うとともに、与那原地区交通安全協会玉城支部交通安全母の会を設立して初代会長に就任し、現在も地区安全協会玉城支部長として活躍するなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>
<p>ニシアヅ マチコウツウアンゼンハノカイ 西会津町交通安全母の会</p>	<p>昭和46年の結成以来、地域に密着した交通安全活動により交通モラルの向上と交通事故防止の啓発を積極的に推進するとともに、保育所の交通安全指導では、風評打破を目指すローカルヒーロー「丞神（しょうじん）デナー」と一緒に行うゲームを通して、交通ルールに関心を持たせる工夫や、母の会の会員が啓発文を考え、自分たちの言葉で交通安全を呼びかけ積極的な広報活動を行うなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>
<p>イッパ ンジャダンホリジンニカ タケンダンプキョウカイ 一般社団法人新潟県ダンプ協会</p>	<p>昭和43年の結成以来、地元警察や関係機関・団体と密接な連携を図りながら、地域の実情に即した交通安全活動に積極的に取り組むとともに、昭和59年代以降には、小学校においてダンプカーを使った交通安全教室を開催し、児童に対する交通安全指導・啓蒙活動を行っているほか、安全パトロールにより、交通障害・道路の汚損箇所の発見、安全運転の指導、過積載違反の防止に努めるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>
<p>カガシホ ウハンコウツウスインタイ 加賀市防犯交通推進隊</p>	<p>昭和40年の結成以来、市の交通安全行事に積極的に参加し市民等に交通事故防止を呼び掛けるとともに、一斉赤ランプ作戦(夜間パトカーの赤色灯やハンドライトを点灯させ通行車両に注意を喚起し、夜間の交通事故の防止を図る)や、厳寒の中、交通死亡事故多発に伴う緊急赤ランプ作戦を実施してドライバーに交通事故防止を呼び掛ける交通事故防止活動に努めるなど、交通事故防止に尽力し、交通安全思想の普及に多大な貢献をしている。</p>

<p>エチゼンシヨウツウアンゼンハハノカイ 越前市交通安全母の会</p>	<p>昭和44年の結成以来、特に母親の立場からみた独自の交通安全活動を行うとともに、子どもと高齢者に対する交通安全教育に力を注いでおり、子供を対象としたイベントではオリジナルの「大型交通安全カルタ」を活用し楽しみながら交通安全を学んだり、高齢者に対しては交通安全メッセージ入り絵葉書を作成し、母の会会員が高齢者に直接手渡して交通安全を訴える「交通安全愛のメッセージ葉書作戦」を実施するなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>
<p>ツシヨウツウアンゼンフボノカイレンラキョウギカイ 津市交通安全父母の会連絡協議会</p>	<p>昭和56年の結成以来、地域の実情に即した交通安全活動に取り組んでいる。ミルミルボード（交通安全メッセージ記載のボード）を使用した街頭広報（平成26年度実績7回）や小学生交通安全ポスター展を開催し、ポスター作製を通じて交通安全の意識付けを図るとともに、三重県交通安全母の会連合会主催の交通安全指導者研修会へ参加し、正しい交通指導の方法等を取得するなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>

シク ^{チョウソン} 市区町村	主な交通安全施策
フクシマケンアサカワマチ 福島県浅川町	<p>浅川町は、南北に基幹道路国道118号が走り、町内保有車両だけでなく近隣市町村への通行車両が多く、交通の要所となっている。また、町民の生活を支える路線の町道がある。</p> <p>これまで、地元警察や各行政区及び関係機関・団体と密接な連携を図り、交通安全意識を高め、交通モラルの向上に積極的取り組み、町民ぐるみの交通安全対策を推進してきた。</p> <p>特に、平成17年に町内で発生した小学生の交通事故死を重く受け止め、町の交通安全計画の重点対策の第一に「子どもの交通事故防止」を掲げている。</p> <p>また、平成16年9月以来、24時間以内の交通事故死者数は0人で、事故件数・負傷者数も現行の第9次浅川町交通安全計画の指標以下となっており、更に交通事故件数・負傷者数が着実に減少しているなど他の市町村の模範となる交通安全運動を展開している。</p> <p>○ 春の交通安全運動時には、「一戸一名一朝運動」〔町民総ぐるみで交通ルールのわからない子供たちを無事に学校まで送り届ける街頭（自宅から近い横断歩道や交差点など）での交通指導〕活動を実施。</p> <p>○ 高齢者に対しては、老人クラブの会合等あらゆる機会を活用した交通安全意識の浸透を図り、歩行者シミュレータを活用して参加体験型の交通安全教室を開催。</p> <p>○ 交通事故被害者支援として、交通遺児に対して、昭和46年から「浅川町交通遺児激励金制度」を設けて支援を行っている。</p>

<p>ナガノケンヤスオカムラ 長野県泰阜村</p>	<p>泰阜村は、長野県南部の下伊那郡に位置しており、西部に天竜川が流れる、過疎化と高齢化が進んだ山間の村である。飯田市、下條村、阿南町、天龍村の4市町村に接しており、主要道路は南北に伸びている。代表的なものは、県道1号飯田富山佐久間線、県道83号下條米川飯田線や、県道64号天龍公園阿智線である。県道1号線は一部を除いて改良が進んできているものの、他の県道と村道では未改良の部分が多く、幅員が狭く急カーブも多い。</p> <p>また、上記村内の道路の交通需要は、アウトドアスポーツやキャンプ場など、豊かな自然を生かした観光振興への取り組みにより、県内外から多くの観光客が訪れることで増加している。</p> <p>公共交通機関として、JR飯田線や公共バスが走っているものの、本数が少なく、村民の交通手段は専ら自家用車であるが、高齢化が進んでいることから、運転者、歩行者ともに高齢者の割合が高くなっている。</p> <p>このため、県内外から多くの車が訪れる観光シーズンは、上記理由により交通事故が起こる危険性が高く、厳しい交通情勢となっている。</p> <p>○泰阜村の主要道路は未改良の部分が多く、観光シーズンには、県内外から多くの観光客が訪れることで増加している交通環境の中、年4回の交通安全運動を中心に、同報無線・ケーブルテレビ等を用いた広報活動や、幟旗を利用した街頭指導、道路環境の整備等を積極的に実施しており12年間交通事故死者ゼロを達成。</p> <p>○年4回の交通安全週間等の期間中、定期的にシートベルトの着用調査を実施し、ドライバー及び同乗者へのシートベルト、チャイルドシートの着用意識向上に努める取組を実施。</p>
<p>キョウトフ セイカチョウ 京都府精華町</p>	<p>精華町は、京都府の南西部に位置し、町中心部を南北に京奈和自動車道、府道八幡木津線が、町南部を東西に国道163号が横断している。また、関西文化学術研究都市の中心地区として、国際電気通信基礎技術研究所(ATR)や情報通信研究機構など産官学の様々な研究施設が存在する他、都心部のベッドタウンとしても機能していることから、交通量も多い。住民の交通手段としては、鉄道(近鉄京都線、JR学研都市線)、自動車为主である。</p> <p>常日頃から地元警察署・関係団体・地域住民と連携し、交通安全意識の向上を図るべく、様々な交通安全施策を積極的に講じてきた。平成24年4月に京都府亀岡市篠町にて発生した通学途中の児童が被害に遭う悲惨な事故を受け、通学路の安全対策を見直すため各関係機関が集う協議会を新たに設置し、行政と住民が協同して京都府内では他の2箇所と併せて初となるゾーン30を整備するなど、特に子どもの交通事故防止対策に熱心に取り組んでいる。</p> <p>○運転免許証を自主返納した65歳以上の市民を対象に住民基本台帳カードを無料で発行するなどの支援策を実施。</p> <p>○平成24年に府内にて発生した児童の通学途中の事故を受け、通学路の安全対策を見直すため、各関係機関が集う協議会を新たに設置。</p> <p>○京都府内では他の2か所とあわせて初となるゾーン30を整備するなどの通学路の安全対策を実施。</p>